



「企業の森」事業で  
NTNと協定調印  
県、桑名市

県の推進する「企業  
の森」事業で、大手機  
械部品メーカーNTN  
(大阪市)が桑名市の  
多度山の整備に取り組  
むことになり、同社と  
県、桑名市との協定の  
調印式が四日、県庁で  
あった。

県が二〇〇六年度に  
始めた同事業での協定  
調印は二十一件目。同  
社はNPO法人「森林  
の風」(四日市市)から  
協力を受け、私有林四  
五㌶で植樹や下草刈  
り、歩道の整備を行う。  
調印式には同社桑名  
製作所の井上博徳所長  
(写真中)と江畠賢治  
副知事(同左)、桑名市  
の山下卓司副市長(同  
右)が出席。井上所長  
は「活動を通じて地球  
環境との共生を重視す  
る心を育てたい」とあ  
いさつした。

(鈴木龍司)

社はNPO法人「森林  
の風」(四日市市)から  
協力を受け、私有林四  
五㌶で植樹や下草刈  
り、歩道の整備を行う。  
調印式には同社桑名  
製作所の井上博徳所長  
(写真中)と江畠賢治  
副知事(同左)、桑名市  
の山下卓司副市長(同  
右)が出席。井上所長  
は「活動を通じて地球  
環境との共生を重視す  
る心を育てたい」とあ  
いさつした。

### もちまきや神事 山の安全を祈願

紀北の三戸神社  
紀北町紀伊長島区島

原の三戸神社で七日、  
山の神の日の神事が當  
まれた。

参加した紀北町紀伊  
長島区島原の製造会社  
員鈴木和子さん(六三)は  
「奥深い山の中での神  
事はおござ  
かで來たか  
いがあつ  
た。ずっと  
続いてほし  
い」と話して  
いた。



盛大なもちまきに大勢の人が集ま  
りにぎわった「山の神の日」(紀  
北町紀伊長島区島原の三戸神社で)

(藤原啓嗣)

尾鷲市や紀北町で  
は、毎年十一月七日を

山の神の日と定め、林  
業関係者が山仕事を休  
み、安全祈願をする。

三戸神社では、近辺の  
山を所有する三井物産  
フォレストが、神事を  
執り行っている。

神事の後もちまきが  
まれたやぐらから九十  
キの紅白もちがまか  
れ、地元の人約百人ほ  
どが争って拾つてい  
た。

# ナラ枯れ被害広がる

ナラ枯れやシイ・カシ類の広葉樹が枯死する。ナラ枯れが数年で急速に広がり、全国の半分以上の都道府県で被害が報告されるにつれて、告虫のカシノナガクイムジカナナタリが発生した。害虫のカシノナガクイムジカナナタリは森林病害の一つである。里山に人の手が入らなければならぬことが森林病害の特徴である。里山に人の手が入らなければならぬことが森林病害の特徴である。

都道府県の半数以上

## 里山の放置が原因

た。カシナ力が繁殖やすいの  
に比べていた。  
地球温暖化がナガ枯れ被害拡大の一因といつて説もあるが、定説にはなっていない。黒田さんは「温暖化の議論をしてもナガ枯れ对策策は進まない」と強調。里山再生への道のりは遠い。現  
在進められていて被雪対策は、枯れた木に薬剤を注入してカシナ力やナラ菌を死滅させる。それを伐倒して丸太を搬却する保護林で覆ってカシナ力の侵入を防ぐ。  
しかし立木の幹をソーラー炉で焼かれて木の幹を死滅させる。枯れた木の間では、予算も手人がかかる。これも山の斜面では作業が大変で十分に実行されてしまう。治体の森保護担当者や樹木医によるへん、予算も手人がかかる。これが「悲観的な見方も多い」という。



カシノナガキク  
シの成虫 (岐阜)  
林研究所提供)

被書が深刻化してゐるのみせん。かたつた「森林総合研究所関西支所(京)」の研究みて、里山の森林に人の手がほどいへばないといつ社会的要因が明らかにならひました。

A photograph showing a dense stand of tall, slender trees. The foliage is a mix of vibrant green and a golden-yellow color, suggesting a transition between seasons or a specific type of vegetation. The perspective is from a low angle, looking upwards through the canopy.

害虫好む高齢大径木残る